

Publication: The Home Living
Editor/Writer:
Country: Japan

Date: 5 May 2010 issue 1463
Circulation: 20,000
Frequency: Monthly



シンガポール発
世界の家具見本市

IFFS/AFFS

ホールの入口付近では、シンガポールモザイクのメンバードであるファルコン社とスターファニチャー社が、開催2日目の8月10日にメディア向けにプレゼンテーションを行っていた。取材はお断りという企業もいる一方、バイヤーだけでなくメディアにも盛んにアピールしている企業があるというのを改めて実感させられる。今回はこの2社を紹介する。

ファルコン社は主にコントラクト家具、家庭用コンテンポウリー家具、さらに、受注生産の「619コレクシオン」も出品したが、生産を委託している「619コレクシオン」社を紹介した。コントラクト家具は高級ホテル向けで、シェルトンホテル、ヒルトンホテル、マリオットホテルなどへの納入実績がある。家庭用家具ではベッドルーム、ダイニングルーム、リビングルームをそろえる。クラシックのテーマではハイグロス仕上げに加え、部分的に金箔使い、ゴージャスな雰囲気を醸し出している。コンテンポウリーなテーマではシンガポール近郊の家具が中心。白や明るい

メディア向けプレゼンで積極的にアピール

ファルコン社と
スターファニチャー社

カラーの床を統一している。クラシックとは対照的だ。

これらの販路は、シンガポール、マレーシア、インド、スペイン、アメリカなど、日本への輸出取引はないという。

619コレクシオンは、「美しい家具」をコンセプトとし、コンテンポウリーデザインを特徴にしている。イタリアのデザインを基調とし、アジアのテイストを融合させて「西洋土東洋」というテーマで展開する。同コレクシオンは日本への輸出実績がある。

スターファニチャー社はリビングルーム、ダイニングルーム、ベッドルームの家具を取り扱う。今回展示ではネオクラシックをテーマとして、「Monique」「Gittie」「Catherine」「Corinna」を提示した。販路はヨーロッパや中東など、ヨーロッパでは白の製品が好評だといふ。



ファルコン社の「クラシックシリーズ」(左)スターファニチャー社の「Monique」(右)「619コレクシオン」



同社は昨年末にシンガポールのAFFSメディアグループが主催する「アジア・ファニチャー・リーディング・アワード」を受賞。昨年のMIEMや東莞展でも賞を受けている。

(書く)小島